

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月5日(水)

事務事業		道水路用途管理事務		担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	48441	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	・ 深谷市法定外公共物管理条例 ・ 深谷市における道路敷地及び水路敷地の用途廃止申請事務処理要綱 ・ 深谷市における私道等の寄附受入れに関する要綱					
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		道路及び水路敷地について、その土地に隣接する土地所有者からの申請に基づき、用途廃止及び付け替え等の事務処理を行うものである。 土地所有者からの私道等の寄附申し出に伴い、登記等の事務を行うものである。								
目的 ※何のために		路線の廃止及び道路区域の変更等によって不要となった道水路敷地の有効利用 道路周辺住民の生活環境の向上、一般交通の安全性を確保								
対象 ※誰・何を対象に		払下げ又は付け替えをする道水路敷地 要綱における条件を満たした一般の用に供する私道								
手段 ※どのように		申請に基づき、現地調査等を行い、用途廃止及び付け替えの事務手続きを行う。 寄附の申出に伴い、現地調査及び登記等を行う。								
成果 ※何を求めるか		不要となった道水路敷地の払下げや付け替え等により、土地の有効利用が図れる。 私道に関するトラブル等を未然に防止し交通安全に寄与する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額 (円)		
		一般会計	8	土木費	1	土木管理費	1	土木総務費	寄附分筆測量事業	610,338
本事業の 主な業務		・ 道路・水路の用途廃止					・			
		・ 寄附受入					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		道路・水路の用途廃止 寄附受入	道路・水路の用途廃止 寄附受入	道路・水路の用途廃止 寄附受入			
事業費	予算（現額）	296,000	874,000	550,000	1,100,000		
	決算額	0	610,338	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	610,338	550,000	1,100,000	
人件費	従事職員数（人）	1.72	1.75	1.75	1.75		
	人件費相当試算※	13,535,639.00	14,017,789.00	14,631,575.00	14,631,575.00		
総事業費試算		13,535,639	14,628,127	15,181,575	15,731,575		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値 実績値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	用途廃止及び付替え申請数	目標値	件						
		実績値		11.00	6.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請によるため、目標値の設定なし。 / 用途廃止台帳						
	実績値の算出式								
活動指標 2	寄附申請件数	目標値	件						
		実績値		28.00	31.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請によるため、目標値の設定なし。						
	実績値の算出式								
成果指標 1	申請に対する処理割合 事前 協議回答処理	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		用地廃止又は付け替えの申請に対し、すべて処理をするため、１００％とする。 / 処理数／用途廃止及び付替申請数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	申請に対する処理割合 事前 協議回答処理	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		寄附申請に対し、すべて処理するため、１００％とする。 / 処理数／寄附申請数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	用途廃止申請件数は申請地に隣接する土地所有者に基づくものであり、令和4年度は11件に対し、令和5年度は6件の申請であった。 また、寄附申請件数は令和4年度の28件に対し、令和5年度は31件の受理と若干多くなっている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	当該年度において提出された用途廃止、寄附の事前協議においては適正な回答処理を行った。
			評価者 調査係長 金澤 博司

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	用途廃止、寄附申請とともに事前に協議を行い、市から申請者へ回答を行うことで効率的に事務が行われている。
			評価者 調査係長 金澤 博司

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道水路用途管理事務	担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	48441
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		「深谷市における道路敷地及び水路敷地の用途廃止申請事務処理要綱」及び「深谷市における私道等の寄附受入れに関する要綱」に基づき、適正に事務処理を行っており、現状のまま継続としたものである。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路管理課長 宮下 昌規				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

